

地域全体のまちづくりの基本方針・目標(案)の確認

これまで実施した 3 回の市民検討会成果をふまえて作成した『まちづくりの基本方針(案)』、『まちづくりの目標(案)』と、『ゾーン別イメージ(案)』を確認し、意見を出し合いました。

まちづくりの基本方針(案)

- 方針 1：駅と海の玄関口をつなぐ風格のある都市軸の形成
- 方針 2：空と海が一体となった開放感のあるまちなみの形成
- 方針 3：暮らしやすく、散策が楽しいまちなみの形成

【主な意見】

川沿いの散策路との連携が大事

「歩いて楽しい」を「散策」に変えては？

「まちの色と 花緑が調和した 歩いて楽しいまちなみ」ではどうか？

まちづくりの目標(案)

花と緑でつなぐ 歩いて楽しい 空・海・陸のクロスロード

【駅前周辺ゾーン】

賑わいを感じる、緑にあふれたオシャレな駅前景観

【主な意見】

ゾーンイメージは「賑わい」



【既存住宅ゾーン】

緑と花に囲まれた閑静な住宅地

【主な意見】

ゾーンイメージは「落ち着いた」「閑静でシャレた」にしては？
おしゃれなパン屋やカフェがあるイメージ
お年寄りにやさしい通り（ベンチ、バリアフリー）
管理された緑化（維持管理が課題）

【海辺ゾーン】

海の玄関口にふさわしい、南国らしさがあふれた、さわやかなまちなみ景観

【主な意見】

ゾーンイメージは「海」
おいしいお店が立地してほしい
その日採れた食材を売る店があると便利（特にお年寄りに）（既存住宅区間にも）

アドバイザーより

宮崎県景観アドバイザーの宮崎大学出口先生より、講評を頂きました。

- ・駅東周辺は道路ができることで、今とは全く雰囲気が変わるでしょう。
- ・公共と民地の境界（セミパブリック）が大事。残地の凹凸を逆に楽しめるような工夫があるといいですね。
- ・宮崎市は地盤や防災の関係から、あまり高い建物が建たないと思うので、高さより横の大きさについて検討してみてもはどうでしょうか。
- ・完成目標まであと 3 年あるので、ルールづくりをコツコツと継続してやっていけばと思います。どうやってつないでいくかが今からの課題ですね。



お問合せ 宮崎駅東通線周辺地域の景観まちづくり市民検討会
事務局：宮崎市都市整備部 景観課 景観企画係 担当：藤本
TEL 21-1817 FAX 21-1816 E-mail 30keikan@city.miyazaki.miyazaki.jp



宮崎駅東通線周辺地域

景観まちづくりニュース

4号

平成23年2月18日(金) 第4回市民検討会を開催！ 将来イメージ図を見ながら、ゾーン毎のルールを考えました

市民検討会では、これまで様々な情報を共有し、実際にまちを歩いたり、未来の主人公になってまちを想像したりしながら、新しいまちの姿をイメージしてきました。

今回は 3 班に分かれて、ルールを何も設けなかった場合の将来イメージ図とルールをつくった場合のイメージ図を見比べながら、問題点や課題、必要なルール項目、不必要なルール項目などを話し合いました。

次に、これまでの市民検討会の成果をふまえて作成した『まちづくりの基本方針(案)』、『まちづくりの目標(案)』、『ゾーン別イメージ(案)』について、修正したい点や気になる点などの意見を出し合いました。

全 4 回にわたり開催した市民検討会は今回で終了です。今後は、市民検討会での成果をふまえ、より具体的なルールづくりに取り組んでいきます。

市民検討会の流れ

第1回 10月28日(金) 19:00～
「まちづくりの視点を探る」

宮崎駅周辺のまちづくりの経緯の現状
まちづくりの視点を探る

済

第2回 11月28日(日) 13:00～
「まちなみの魅力を共有する」

魅力・残したいイメージなど現地で探る
ゾーン特性や全体イメージを知る

済

第3回 1月21日(金) 19:00～
「将来イメージとゾーニングを考える」

将来イメージの検討と目標設定
将来イメージから景観ルールを考える

済

第4回 2月18日(金)
「将来イメージからルールを考える」

将来イメージから基本方針を考える
景観ルールの方向性の設定

今回

平成 23 年度以降 より具体的なルールづくり



当日のプログラム

1. 開会・あいさつ
2. グループ分け
3. 前回の振り返り
4. ゾーン別ルールイメージの検討
(グループ作業)
5. 基本目標・ゾーンイメージの検討
(グループ作業)
6. 発表

ゾーン別ルールイメージの検討

< Before : ルールがない場合のイメージ図 >



< After : ルールがある場合のイメージ図 >



A 班

Before	After
屋上広告物は規制が必要 樹木は低木で良い	色の統一さえすれば広告物はあってもよい(人がいないと寂しい感じ) イメージカラーをつくる(暖色系)

B 班

Before	After
広告物の色のトーンを揃えと統一感が出てよい 歩行者の安全性に配慮した通りにしたい	高さや色を統一すると good 宮崎の青空を生かせる色彩になるようコントロールが必要

C 班

Before	After
ごちゃごちゃした色は嫌 建物・広告物等の色の統一が必要	スカイラインの高さの統一が良い 建物の壁面・広告物等は落ち着いた色使いが良い 樹木は大きく樹種も統一したい

ゾーン毎の「ルールがないと将来の街並みはこういう感じになる」というイメージ図 (Before) を見ながら、『こうならないで欲しい』『これは気になる!』という項目を書きだしました。そして、「こんなルールを設ければこんな街になるかも」のイメージ図 (After) を見て、参加者のイメージと合っているか・違っているかなどを班毎に考えました。

< Before : ルールがない場合のイメージ図 >



< After : ルールがある場合のイメージ図 >



A 班

Before	After
通りの裏にあった戸建てが表になったときの問題 室外機などは目隠しした方がよい(補助が必要かも) 広告物はある程度集約させる	残地に花を植える 壁面は住宅地にふさわしい色に規制 広告物の排除まではどうか

B 班

Before	After
残地に野立てて広告があると見苦しい 残地の管理・活用法を考える必要あり	草花の維持管理の仕組みが必要

C 班

Before	After
建物の看板規制が必要 残地の野立て看板が気になる 看板、ゴミ箱等は歩行者の邪魔(ぶつかると危険)	溜り空間(うるおいある緑)がよい 既存の緑の活用 パームツリーは住宅地内のイメージにあわない



【海ゾーン西側】

< Before : ルールがない場合のイメージ図 >



< After : ルールがある場合のイメージ図 >



A 班

Before	After
広告物の背が高いのは× 高い建物もない方がよい(空と海の広がり)	景観にあった広告物がほしい 緑はある方がいいが、中央帯の街路樹はなくてよい 建物の色が落ち着きすぎ。海に近いイメージカラーを。

B 班 (海辺ゾーン全体)

Before	After
まちのコンセプトに合った色彩・広告物のルールが必要 高層でも空と調和するよう色彩への配慮が必要 ブロック塀は避けたい	VR 案は宮崎らしく、明るく空と調和していて良い 一家に 1 本以上のシンボルツリーを 夏の日差しを防いでくれる緑影がある街路樹がよい

C 班

Before	After
無機質な車とフェンスは× 建物の壁面や広告物など色がごちゃごちゃ 高木がなく空のイメージが強い	パームツリーが空のイメージを邪魔している 植栽と建物の色が調和していてよい 生垣を設けることで、車等の無機質なものが隠され潤いある通りになった

【海ゾーン東側】

< Before : ルールがない場合のイメージ図 >



< After : ルールがある場合のイメージ図 >



A 班

Before	After
広告物の背が高いのは× 高い建物もない方がよい(空と海の広がり)	景観にあった広告物がほしい 緑はある方がいいが、中央帯の街路樹はなくてよい 建物の色が落ち着きすぎ。海に近いイメージカラーを。

C 班

Before	After
-	地域にある既存の緑を生かしたい 緑と建物・通りの調和が必要。

